

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	田辺市立会津小学校	亀井 陽一
学校所在地		
(〒 6 4 6 - 0 0 0 4) 和歌山県田辺市下万呂 5 9 - 1 tel 0 7 3 9 (2 2) 1 1 6 4 fax 0 7 3 9 (2 2) 6 3 7 2		
担当者名		役職名・担当教科
向井 大嗣		教諭・6年生担任
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6 年生 6 4 名	職員 5 名	教室・図書室・ラーニングスペース・熊野古道
実践研究テーマ		
地域と共に生きる子どもの育成 ～世界遺産 熊野古道を含め田辺市を地域に発信しよう～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	田辺市の魅力を発信しよう	
〔キーワード〕 世界遺産学習・熊野古道・情報活用能力		
〔単元目標〕 ○世界遺産に登録されてから 2 0 年を迎えた「紀伊山地の霊場と参詣道」について、歴史的意義を調べ考えることにより、自分達がこの世界遺産の継承者であるという意識をもち、これからの行うべき課題を発見することができる。 （課題発見力） ○学習したことを地域に発信するための効果的な方法を考え、分かりやすく適切に伝えることができる。 （コミュニケーション力） ○調べ学習や体験学習等を通して、自分達が住んでいる地域のすばらしさを知り、郷土田辺を誇りに思い、この自然や文化を大切にし、これを後世に伝えていこうとする意識を高める。 （自らの生き方を考える力）		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 3 0 時間 （「田辺市の魅力を発信しよう」）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター ・ ・ ・ 世界遺産入門・次世代育成事業（現地学習）		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 世界遺産センターの土永さんを招き世界遺産に関する話を聞く。世界遺産についての理解を深める。	・講師を招く。（土永 択也さん）	ワークシート・発言
2	2. 現地で道普請体験をする。	・和歌山県世界遺産センターを訪ね、世界遺産に登録されている熊野古道の古道を修復する。	発言 （コミュニケーション力）
3	3. 熊野古道ウォークを行う。	・和歌山県世界遺産センターを訪ね道普請体験を行った後に、世界遺産に登録されている熊野古道を歩く。	ワークシート（タブレット） 発言 （自らの生き方を考える力）
4	4. 総合的な学習の時間で、熊野古道を歩いて実際に学んだことや聞いたことをガイドブックにまとめる。	・今まで学んできたことをガイドブックにまとめる。	ガイドブック
〔単元学習の成果と課題〕			
成果 ・熊野古道を実際に歩いたり、道普請を体験したりすることで、自然を身近に感じ、先人たちが繋いできた歴史と文化を自分たちが守っていかなければならないという意識が芽生えた。 ・学んだこと、体験したことをガイドブックに記載し地域に発信することができた。			
課題 ・現地で学習することで様々な学びがあったが、参拝する方々にインタビューするなど参拝した方々の話や思いを聞く時間をもっと増やしたかった。			
〔世界遺産学習の効果〕			
・世界遺産「熊野古道」について調べることにより、世界遺産について興味・関心を持つようになった。 ・世界遺産「熊野古道」について興味を持ち、学習を進めていく中で、地域の方々や外国人の方にもインタビューすることができた。 ・総合的な学習の時間でガイドブックを作成しているが、熊野古道について学習した内容やインタビューした内容をまとめ、掲載することができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
・この学習は「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録から２０年を迎えるということもあり、今年はこの世界遺産学習を総合的な学習の時間に組み込み実施してきたが、単発的な取り組みに終わるのではなくこれからも継続的な取り組みとして位置づけていく必要がある。			

様式 2

令和 6 年度 「次世代育成事業」における学習記録

〔報告書 学習記録・活動写真〕



場所：会津小学校 多目的ホール

日 付：令和 6 年 9 月 9 日（月）

コメント：世界遺産である熊野古道を実際に歩く前に世界遺産についての学習を行った。自分たちの住んでいる和歌山県だけではなく、世界の自然や文化遺産を知るとともに、もうすぐ世界遺産登録 20 年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」をしっかり守っていく必要があるということを学んだ。



フィールド：熊野古道

日 付：令和 6 年 9 月 13 日（金）

コメント：古道を歩く前に道普請体験を行った。修繕しなければならないところまで自分たちで歩き、古道を自分たちの手で整備する事の大変さを感じるとともに、今後、身近にあるこの遺産を自分たちの手で守っていかなければならないという自覚が芽生えた。



フィールド：熊野古道中辺路

（伏拝王子～熊野本宮大社）

日 付：令和 6 年 9 月 13 日（金）

コメント：「伏拝王子～熊野本宮大社」までの熊野古道ウォークを行った。実際に古道を歩くことで自然に触れ先人たちが守ってきたものの素晴らしさに気づくことができた。さらに歩きながら世界遺産マスターの方の話を聞いたり、参詣者の方々にインタビューしたりして現地に赴く事でしか得られない学びができた。今後、この自分達の校区にある「秋津王子・万呂王子」も後世に語り継いでいかなければならないという意識を高めることができた。